

令和4年2月2日

ヒョウモンダコに注意！！

猛毒を持った大変危険なタコです

見つけてもさわらないでください

近年、壱岐沿岸で猛毒を持つとされる、「ヒョウモンダコ」が相次いで発見されています。

令和4年2月2日、壱岐市内の郷ノ浦町の防波堤でヒョウモンダコが確認されました。令和3年度は、7月15日、12月8日にも見つかっています。噛まれたり、食べると危険です。通常、ふつうのタコと見分けが付きません。小さいタコを見つけても絶対に触らないように注意してください。



2月2日に防波堤で
見つけたヒョウモンダコ



昨年10月に防波堤で
見つけたヒョウモンダコ

●ヒョウモンダコとは

大きさ：10cm程度（全長15cm以下）

特徴：刺激を受けた時に青いリング模様が全身に現れます。

毒性：唾液にフグ毒と同じテトロドトキシンが含まれ、噛まれたり、タコを食べると、呼吸困難や心停止を引き起こし、最悪の場合は死亡することもあります。

もし噛まれたら？

呼吸困難を起こすといわれています。急いで病院へ。

（毒は吸わずに、洗い流してください。）